



河内小だより

三次市立河内小学校 令和6年3月号

卒業おめでとうございます

~4名の新たな旅立ち~



3月19日(火)、春を感じるほかほか日和の日、第77回河内小学校卒業式を行いました。今年は、ご来賓や地域の皆様にもたくさん出席していただき、厳粛な雰囲気の中にもあたたかなぬくもりのある卒業式を執り行うことができました。これまでの保護者・地域の皆様のあたたかいご支援やご協力のおかげで、4名の卒業生は、6年間を一生懸命頑張ったという達成感とこれから始まる新しい世界に夢や希望をもって卒業することができました。ありがとうございました。

いつも優しい笑顔で周りの人たちの心を和ませてくれた池田蒼生君。自分が考えたことや思ったことを友達や下級生に分かりやすく説明したりアドバイスをしたりするのが得意な高橋武都葵君。いつも周りの人に気を配り、どんなことにもコツコツと丁寧に取り組み力を伸ばすことができる田上一葉さん。学校のムードメーカーで、どんなスポーツもかっこよくこなす畠山蓮君。一人一人の得意なことや個性を十分に発揮して、河内小学校のリーダーとして1年間本当によくがんばってくれました。下級生の全員が、4人の6年生のことを慕い、大好きでした。



3月8日(金)は「6年生を送る会&スプリングライブ」を行いました。前半の「6年生を送る会」では低・中・高学年に分かれて、群読や合奏、メッセージなどを発表しました。どの発表もこれまでお世話になった4名の6年生へ感謝の気持ちがこもった内容で胸があつくなりました。後半の「スプリングライブ」では、落語やダンス、縄跳び、そしてクイズ、最後は「河内小バンド」が盛り上げてくれました。今回デビューした「河内小ティーチャーズ」の合唱も聴いていただきました。「スプリングライブ」は誰もが好きなことを披露でき

るとあって、1年前から常に「何を発表しようかな〜。」と考えていた人もいました。一人一人の個性が輝く楽しいライブとなりました。これも河内小の自慢の行事ですね。

この「6年生を送る会&スプリングライブ」を企画・運営してくれた5年生の姿もとても頼もしかったです。事前準備や練習はもちろんのこと、当日はその場の状況に合わせた臨機応変な対応も素晴らしかったです。6年生になってからの活躍が楽しみです。



【 中国新聞に掲載 文化ひろば「こども俳句」 】

- ・ 節分で 一番楽しみ えほうまき (4年 田上瑛一郎) 3月7日版
- ・ 豆まきだ 自分の鬼を見つけ出す (3年 余平 樹) 3月14日版

1年間ありがとうございました！

修了式

3月25日(月)河内小学校は令和5年度の修了式を迎えました。5月には新型コロナウイルス感染症が5類に下がり、それまで制限されていた学校生活や行事ができるようになりました。河内小学校・河内地域の恒例であった「地域合同運動会」「ふれ愛祭り」「6年生を送る会&スプリングライブ」も思いっきり楽しんで行うことができました。コミュニティ・スクールの2年目として、様々な学習や体験活動にも保護者や地域の方に参加していただき、子ども達の学習も充実したものとなりました。変化が激しく多様な生き方や考え方ができるこれからの社会に適応しながら生きていくための力をつけていくには、学校だけでは限界があるとつくづく感じた1年間でした。ありがとうございました

来年度はさらにコミュニティ・スクールの活動を充実させ、保護者・地域の皆様のご支援とご協力をいただきながら、共に子ども達を育てていきたいと願っています。引き続きどうぞよろしくお願いたします。